

令和5年度

# 竜谷小学校生活科年間指導計画

学校・地域の特色		ビオトープ(ビオ竜谷)、遊具場、学年の木(花梨、栗、枇杷、柿、梅、蜜柑、キウイ)、ため池、竜泉寺川、竜泉川の桜並木、ゲンジボタル、桑谷駐在所、竜谷保育園、愛厚ホーム岡崎苑、ヴィラ葵、広忠寺、長福寺、長善寺、龍泉寺、実相寺、願心寺、神明宮、日吉神社、松尾神社、柄栗塚、椿ロード、学区子どもの家、東部運動場、ブルーベリーファームおかざき、朝日屋、喫茶やまがわ、コンビニエンスストア									
第一学年	1学期			2学期				3学期			
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	がっこうとなかよし ①④⑧⑨ アイエサ		わたしの つうがくろ ④⑤⑨ アイウエ カコサ	なつとなかよし なつは たのしいこと いっぱい ⑤⑥⑨ オキクケサ		あきとなかよし(環境) つくろう あきの おくりもの ③④⑤⑥⑦⑨ ウエオキクケサ		ふゆとなかよし ふゆと あそぼう ⑤⑥⑨ イオキケサ		たのしかったよ1ねん せい ⑧⑨ アイエカ コサ	
	おおきくなあれ あさがおとなかよし ⑤⑥⑦⑨ オカキクケコ サ				ほいくえんのこと となかよし ③⑥⑧⑨ イウカケコサ	かぞくとなかよし やってみたいね かぞく のしごと ②③⑤⑨ イオキケ	へんしん むかしあそびめ いじん ③⑥⑧⑨ イエオケコ				
第二学年	2年生になったよ ようこそ 1年生 ①⑧⑨ アイウエカコサ		りゅうがい 生きもの ふしぎ はっけ ん(環境) ④⑤⑦⑨ イカキクサ			ふれあいランチ ①②⑨イエ		大きくなったよ ぼく、わたし ①②⑧⑨ イケコサ			
	春はっけん ⑤⑨キクサ	夏やさいを そだてよう ①②⑤⑦⑧⑨ イオカキ コサ			わたしたち 竜谷学区 たんけんたい ③④⑧⑨ イウエカコサ		はっけん くふう おもちゃ作 り ①⑥⑧⑨ オカクケサ				
				つうがくろを あるこう④⑤ ⑨イウエコ		秋はっけん ⑤キクサ			冬やさいを そだてよう ①②⑤⑦⑧⑨ イオカキ コサ		
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学期				2学期				3学期			

- ① 学校と生活 ② 家庭と生活 ③ 地域と生活 ④ 公共物や公共施設の利用 ⑤ 季節の変化と生活 ⑥ 自然や物を使った遊び ⑦ 動植物の飼育・栽培  
 ⑧ 生活や出来事の伝え合い ⑨ 自分の成長  
 ア 健康で安全な生活 イ 身近な人々との接し方 ウ 地域への愛着 エ 公共の意識とマナー オ 生産と消費 カ 情報と交流 キ 身近な自然とのふれあい  
 ク 時間と季節 ケ 遊びの工夫 コ 成長への喜び サ 基本的な生活習慣や生活技能

1 単元名「実りの学習」10時間完了 「竜谷学区の今と昔」35時間完了

2 単元を通して育てたい資質・能力

観点	育てたい資質・能力
知識及び技能	・梅の木の観察、実の収穫、実を使った調理を通して、自然の大切さを知ることができる。 ・文献の総代さんへの聞き取り調査から、昔の竜谷学区の特徴を考えることができる。
思考力・判断力・表現力	・梅の実の観察や調べ学習、収穫などを通して梅について学んだことを掲示板に分かりやすくまとめ、他学年へ発信することができる。 ・自分たちがこれから学区に作りたいものを、工夫してまとめることができる。
学びに向かう力・人間性等	・梅の木の観察と実の収穫などの活動で、友達と協力して意欲的に取り組み、他学年に知ってもらうためにまとめ方を工夫しようとするができる。 ・竜谷学区の歴史や昔の人々の思いに興味関心をもち、積極的に調べようとする。

3 単元の流れ

<1学期>実りの学習

梅の木ってどんな木だろう？				
梅の木を観察したり、梅の木について調べたりしてみよう。1, 2				
実のなり方	収穫の仕方	収穫時期	調理方法	実の特徴
梅の実を収穫しよう。3				
梅ジュースをつくろう。4				
収穫から調理までをまとめて、校内に発信しよう。5～10				

<2, 3学期>竜谷学区の今と昔

社会科で昔の岡崎市について勉強したけど、昔の竜谷学区はどんなふうだったのかな。				
竜谷音頭を聞いて、昔の竜谷学区を考えよう。11, 12				
桑谷山	大久保様	広忠寺	宮太鼓	舞茸
昔の竜谷学区のよさは分かったけど、どう変わったのか知りたいな。				
今の地図と昔の地図をつくろう。13～20				
航空写真で調べる	本で調べる	そうだいさんに聞く		
新しい施設やたてものが増えたね。次に学区につくるとしたら何がいいか考えよう。21～23				
スーパーマーケット	公園	新しい農業施設		
次につくりたいものを提案書にまとめ、総代さんに渡そう。24～32				

学区にのこる建造物や伝統を再認識し、引き継いでいきたいという思いをもつとともに、学区をすみよい場所にしていくためにはどうしたらよいかを考えていこうとする子供

1 単元名「守ろう！竜谷学区の自然！」35時間完了

2 単元を通して育てたい資質・能力

観点	育てたい資質・能力
知識及び技能	ビオ竜谷や、学区にある川、池で生き物調べをする中で、環境の現状や、環境を守ろうとしている地域の人々の工夫や努力を知ることができる。
思考力・判断力・表現力	・ビオ竜谷をもう一度カワバタモロコがいるビオトープにするために自分たちが考え行った活動を、全校や地域の人、東海中学校自然科学部の皆さんに伝えることができる。
学びに向かう力・人間性等	・ビオ竜谷をもう一度カワバタモロコがいるビオトープにするために、自分に何ができるか考え行動しようとする。 ・ビオ竜谷や学区の環境について知る活動や、社会の水やごみの学習を通して、自分の生活を見直し、環境のために自分たちでできることをしようとする。

3 単元の流れ

ビオ竜谷にはどんな生き物がいるのかな。ビオ竜谷は、どんな思いで作られたのかな。

昔のビオ竜谷について調べよう。

カワバタモロコって、なんだろう。竜谷学区にはいるのかな。

総代さん

本やインターネット

学区内のため池

カワバタモロコが生きられる環境はどんなところだろう。

総代さん

本やインターネット

東海中自然科学部

護岸工事や生活排水によって、カワバタモロコは減ってきている。(絶滅危惧種)

カワバタモロコを守るために、いろいろな人が活動をしているんだね。

カワバタモロコが生きられるように、自分たちにできることはないかな。

節水

再利用

石鹸の使用を減らす

ビオ竜谷をもう一度カワバタモロコが生きられる環境にするためにはどうすればいいのかな。

スーパーサイエンス

碧南海浜水族館

びお五本松

学区内のため池

総代さん

ビオ竜谷をカワバタモロコが生きられるように、整備しよう。

カワバタモロコをビオに放そう。

自分たちが学んだことを周りの人へ伝えよう。

これからも、美しい竜谷学区や竜谷小学校の自然を守るために、自分たちにできることをしていこう。

令和5年度 総合的な学習の単元計画

5年1組

1 単元名「東海大地震に備えて～今、私たちにできること～」 35時間完了

2 単元を通して育てたい資質・能力

観点	育てたい資質・能力
知識及び技能	いつ起こるか分からない地震に備えて、災害に必要な知識や物を計画的に準備する。
思考力・判断力・表現力	地震が起こった時にどう判断し、どう行動すべきかを様々な条件や情報から適切に考える。
学びに向かう力・人間性等	自分の命を守ることができるのは自分しかいないことを自覚し、進んで知識を得たり、行動に移したりする。

3 単元の流れ

東海地震が起こったら竜谷学区は、どれくらい揺れるの？

地震はどうして起こるの？どんな災害を引き起こすの？

死傷者、行方不明者	建物、家屋	避難所	食料	電力・ガス	通信	水
-----------	-------	-----	----	-------	----	---

活動1 東海地震について教えてもらおう（岡崎市役所防災危機管理課・岡崎市防災指導員）

活動2 東日本大震災について教えてもらおう（日本赤十字社愛知県支部担当職員）

竜谷学区がどうなってしまうのかはじめて知った。

東海地震がいつ起きても大丈夫なようにしておかないと

活動3 防災ゲーム「クロスロード」(ジレンマ)  
 (例) 我が家には3日分の保存食と水の準備があります。しかし、避難所では多くの家族が保存食をや水を持ってきていません。あなたは、その食料をみんなに分け与えますか？

防災バッグには、どのようなものを入れて準備しておけばいいのだろう。防災バッグの中身について考えよう。

活動4 避難所運営ゲーム（HUG）をしよう  
 避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲーム

避難所生活を想定して、何を備えたらいいのだろう。学校や地域でどれだけの備えがあるか調べよう。

活動5 学区調査をして竜谷学区防災マップをつくろう  
 地震が起こった際に危険な場所や一時避難できる場所を町歩き調査を行い、その調査結果を防災マップにまとめる。

竜谷学区に防災の輪を広げよう。

活動6 竜谷防災フェスタを企画しよう

・自分たちで避難訓練をしよう。 ・地震について必要な備えについて知ってもらおう。 ・保護者や学区の方たちにも聞いてもらおう。

今だからこそ、自分たちにできることは何かを考えて、行動できるようにしていきたいな。

1 単元名「竜谷をお年寄りや障がいを持った人たちにとって優しい町にしよう」 55時間完了

2 単元を通して育てたい資質・能力

観点	育てたい資質・能力
知識及び技能	疑似体験や高齢者へのインタビューを通して、高齢者や障害をもった人たちがどんなことに困っているのか気づき、理解することができる。
思考力・判断力・表現力	高齢者や障がいをもっている人たちが暮らしやすい町にするにはどうしたらよいか考えることができる。 お年寄りや障がいをもっている人たちにとって竜谷学区に必要なことはなにかを理解し、聞き手に伝わるようにまとめることができる。
学びに向かう力・人間性等	竜谷を住みやすい町にするために、調べて考えたことを他学年や地域の人に分かりやすく発信することができる。 竜谷学区の一員として助け合って生きていこうとする気持ちを持つことができる。

3 単元の流れ

